

# 介護現場で働く人々と家族の暮らしを守る集会

私たちを見捨てないでください

～介護現場で働くあらゆる職員にも十分な賃上げを！！～

## 趣 意 書

現在、社会情勢が大きくインフレ局面をむかえる中、介護の現場は、過去にないほどの厳しい経営環境にあり、事業の運営に支障を来す事態が生じています。

令和6年度の介護報酬改定は1.59%のプラス改定で結実しましたが、賃上げによる人件費の高騰、大幅な物価高騰、人材不足などにより、プラス改定は吹き飛び、以前にも増して厳しい経営を強いられ、赤字の事業所が急増しています。

令和6年の春闘における中小企業の賃上げ率は4.45%でしたが、介護9団体で実施した調査によると、賃上げ率は2.52%という結果でした。全産業平均との賃金差は8万円超に拡大し、さらに、令和7年の春闘では、他産業では5%を超える高水準の回答が続いており、その差は一層拡大しています。

公定価格である介護業界では、経費の価格転嫁をすることが不可能で、長引く物価高騰の影響も重なり、他産業のような大幅な賃上げに至らず、追いつくことが出来ません。

また、こうした中、介護現場からの離職者が顕著に増加しており、このままでは、新規採用はおろか、他業種への流出をくい止めることも出来ません。今まで以上に待ったなしの危機的な状況が生じています。

介護は成長産業だといわれており、将来性が高い業種として期待されていますが、長引く人手不足と物価高騰により、昨年度の介護業界の倒産件数は過去最多となるなど、経営も非常に厳しい状況です。このままでは、介護業界に従事する職員を守ることはできず、将来の人材確保に欠かせないテクノロジー活用などでも他産業に大きく遅れをとることになりかねません。

そこで、介護関係団体の代表者が呼びかけ人となり、介護の現場で働くスタッフ、関係者が一堂に会し、想いを声にして、国会にそして省庁に届けるべく集会を開催することといたしました。皆様のご参集をお願いいたします。

令和7年4月

介護現場で働く人々と家族の暮らしを守る集会

発起人一同